

平成26年度自然災害科学中部地区研究集会プログラム
会場: 静岡県地震防災センター

【第1セッション】司会:原田賢治(静岡大学)

時刻	演題	著者	ページ
9:30 ~ 9:45	半マングロープであるハマボウ群落は防災林になりえるか	○甲野裕理・富田美紀・徳岡徹(静岡大学理学部), 増澤武弘(静岡大学防災総合センター)	2
9:45 ~ 10:00	海岸域に成立する天然林の階層構造から防災林について考える	○大嶋達也(静岡大学理学部), 内海明, 和久田均, 富田美紀, 徳岡徹, 増田俊明, 増澤武弘	4
10:00 ~ 10:15	記録的短時間大雨情報と災害との関係について	○向井利明(名古屋地方気象台), 牛山素行(静岡大学防災総合センター)	6
10:15 ~ 10:30	浜松市における降水地域特性	○安野裕史(浜松市危機管理課), 岩崎一孝(静岡大学大学院情報学研究所)	8
10:30 ~ 10:45	2013年伊豆大島および2014年南木曾町での豪雨災害時の犠牲者の特徴	○牛山素行, 横幕早季(静岡大学防災総合センター)	10
10:45 ~ 11:00	<休憩>		
11:00 ~ 11:15	静岡・清水平野・伊豆半島南部の過去数千年間の古津波と古地震	○北村晃寿(静岡大学大学院理学研究科)	12
11:15 ~ 11:30	地震活動と火山噴火の同時表示の試み	○石川有三(静岡大学防災総合センター・(独)産総研活断層火山研究部門)	14
11:30 ~ 11:45	介護施設等における防災への取り組みについて	○鈴木崇(ふじのくに防災フェロー養成講座受講生)	16
11:45 ~ 12:00	通所介護事業所における防災講座の実践と課題	○國井良子(ふじのくに防災フェロー養成講座), 前田恭伸(静岡大学防災総合センター)	18
12:00 ~ 12:15	自主防災組織の「担い手確保」に関する調査	○進士裕介(ふじのくに防災フェロー養成講座), 前田恭伸(静岡大学防災総合センター)	20

12:15 ~ 13:30 <昼休み>

【第2セッション】司会:北村晃寿(静岡大学)

13:30 ~ 13:45	「静岡県第4次地震被害想定」についてのQ&Aの作成と効果等について	○杉山徹(内閣府防災担当普及・啓発連携担当)	24
13:45 ~ 14:00	改訂後の津波警報に対する地域住民と大学生の主観的リスク想定と評価の分析	○行場絵里奈(東北大学災害科学国際研究所)	26
14:00 ~ 14:15	津波被害想定が激変した地域における住民の防災意識について	○三橋麻衣(牧之原市), 杉村晃一(静岡市), 牛山素行, 横幕早季, 大森康智(静岡大学)	28
14:15 ~ 14:30	地方紙の報道から見た2014年2月豪雪の社会的影響	○秦康範(静岡大学防災総合センター/山梨大学), 坂口和則(山梨大学工学部土木環境工学科)	30
14:30 ~ 14:45	SNSを活用した津波等の歴史災害記録の情報共有手法の試行	○豊田淳史(ふじのくに防災フェロー養成講座), 原田賢治(静岡大学防災総合センター)	32
14:45 ~ 15:00	<休憩>		
15:00 ~ 15:15	静岡県地震防災センターの現状分析と今後のあり方の検討	○原田久仁一(静岡県地震防災センター), 原田賢治(静岡大学防災総合センター)	34
15:15 ~ 15:30	市町村の津波避難計画の設定条件に関する特徴の比較検討	○有友春樹(日本ミクニヤ株式会社), 原田賢治(静岡大学防災総合センター)	36
15:30 ~ 15:45	災害情報面から見た近年の市区町村防災体制の変化について	○清水修二(静岡県袋井市防災課), 牛山素行(静岡大学防災総合センター)	38

・1題あたりの発表時間は、15分(本人発表時間が10分、質疑討論時間が5分)です。

・発表会場には、パソコン(Office2007)、液晶プロジェクターを用意する予定です。各自パソコンを持ち込んでいただいても差し支えありませんが、発表前に接続できることを確認しておいてください。

・著者4名以上の場合、著者名の一部を省略しています。